

ブース番号	23	分野・キーワード	医療、医薬、循環器学、心筋梗塞
問合せ先	所属・氏名 保健学研究科・草地省蔵 Tel 086-235-6897 Fax 086-235-6897 E-mail sh-kus05@cc.okayama-u.ac.jp		
テーマ	検査技術科学分野・分子医化学教室ジョイント心血管研究		
<p>●産業界へのアピール</p> <p>循環器分野の臨床診断で有用な新しい臨床検査法の開発・検討を行っています。</p> <p>● 研究内容</p> <p>虚血性心疾患を鋭敏に検出するための安定性のある生化学的マーカーの確立や、PWV（脈波伝搬速度）、AI（augmentation index）などの新しい生理学的検査法の開発およびその臨床データ解析法の検討を行っています。また、心筋梗塞部位における細胞外マトリックス成分に着目し、心筋梗塞後の予後を規定する重要因子を同定する試みを行っています。数値シミュレーション解析では全身循環器系数値計算モデルの構築を行い、各種心疾患時の生体内現象（脈派、血圧変動などの特性）の解明を目指しています。</p> <p>●特許番号</p>			

ブース番号	24	分野・キーワード	有機合成、生理活性物質
問合せ先	所属・氏名 教育学研究科（自然科学研究科兼担） 石川 彰彦 Tel 086-251-7639 Fax 086-251-7639 E-mail teruhiko@cc.okayama-u.ac.jp		
テーマ	幾つかの有用な生理活性物質の合成研究：方法論と分子設計		
<p>●産業界へのアピール</p> <p>単純な基質から短行程で、高官能基性を獲得できる合成プロセスを開発</p> <p>●研究内容</p> <p>医薬、農薬の探索研究等において、多様な生体活性分子の迅速な提供が求められている一方で、有機合成プロセスには、一般に多工程の変換、分子構造のバリエーションに対応できない非柔軟性等の問題があり、機能性分子の量的供給や自由な分子設計を阻んでいる。物質創出における反応制御法の開発とプロセス化学の水準の向上が重要視されている。</p> <p>様々な生理活性物質が有する分子構造へのアプローチを容易にするには、効率的な合成法を開発することが重要になる。これらの課題において、我々は多官能基性分子の単位構造を短工程で効率的に合成する手法、すなわち「連続反応系」を基軸とした新規合成プロセスの開発を行ってきた。今回、創薬のリード化合物となるアルカロイド類、重要な医薬品中間体となるベンゾフラン、インドール及びピロール類の新規合成法を例示する。</p>			